

こどもの近視進行抑制治療について

①近視ってなに？

近視とは、眼球の長さが前後に伸びることにより、ピントが網膜に合わずぼやけて見えます(黒板の文字が見えにくい、遠くのものが見えないなど)

②こどもの近視の主な原因

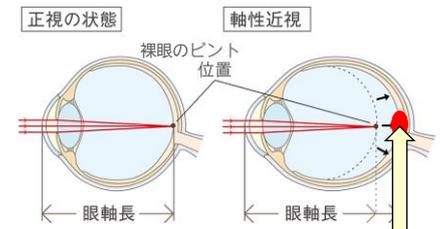
- ・ **遺伝的要因**：両親が近視>どちらかの親が近視>両親とも近視ではない
⇒この順番で近視になる可能性が高いといわれています
- ・ **生活習慣**：太陽光を浴びる時間が短い、近い距離のもの(ゲームやタブレット、本など)を見る時間が多いなど

③近視のリスク

近視の人は、**白内障 緑内障 網膜剥離**などの視力にかかわる病気になる可能性が正視の人や遠視の人と比べると高いといわれています
☆緑内障は日本人の失明原因第1位です

④近視の進行を予防するには…

- 3歳～10代後半までの正しい生活習慣や治療をすることが重要！
- ・ 太陽光を浴びる
 - ・ 長時間、近くばかりを見ないようにする
(30分近くを見たら、遠くを見て目を休ませるとよい)
 - ・ 近くのものを見るときは30cmの距離を保ちましょう
 - ・ 見えにくさを感じたら、眼鏡やコンタクトレンズを使用する
 - ・ **近視進行抑制治療**を行う



★眼鏡やコンタクトレンズで矯正することで、網膜にピントが合い、クリアに見えるようになります

こどもの近視は
近年増加傾向にあり
高校生までに
約7割
が近視になると
いわれています

★近視進行抑制治療の種類 自由(自費)診療

どの治療法も急に治療を中止すると、リバウンド現象(抑制していた近視が目に戻る)が生じることがあります。そのため、医師の指示のもと治療を中止することが必要です。

①低濃度アトロピン点眼薬 当院での価格や検査内容となります

1日1回の点眼により、近視の進行を遅らせる(眼軸長の伸展を抑制する)という点で有意義な効果が確認されている治療法。近視の度数や進行具合により、点眼薬の種類が異なります。

対象年齢：4歳～高校生頃

※近視進行が緩やかになる20歳頃まで点眼している方もいます

費用：3ヶ月毎の定期検診 検査料2,000円+点眼液3本分の金額

※初回は検査料2,000円+点眼液1本分の金額



●「マイオピン点眼液0.01%」シンガポール製(Eye-Lens Pte Ltd)

1本(1ヶ月分)あたりの価格：3,500円

特徴：1ヶ月使い切りのボトルタイプ

●「リジュセアミニ点眼液0.025%」日本製(参天製薬)

「マイオピン点眼液0.025%」シンガポール製(Eye-Lens Pte Ltd)

※マイオピン点眼液0.025%は終売のため、無くなり次第リジュセアミニ点眼液0.025%へ移行となります

1本(1ヶ月分)あたりの価格：マイオピン0.025%/4,000円

リジュセアミニ点眼液0.025%/価格未定(R7.4時点)

特徴：1日毎の個包装タイプの点眼液のため衛生的(リジュセアミニ点眼薬0.025%)



②オルソケラトロジー 当院ではしておりません×

対象年齢：20歳以上 ※6歳から受けられる施設もあります

睡眠時にハードコンタクトレンズを装着することで目の表面を平らにし、日中裸眼でも過ごすことができる治療法。

③レッドライト治療 当院ではしておりません×

対象年齢：3～16歳

赤色光を1日2回(1回3分)みることによって近視進行抑制の効果が期待できる治療法。眼科医が慎重に経過観察をすることが必要。

【参考資料】 参天製薬「リジュセアミニ点眼薬0.025%」/マイオピンHP/日本近視学会HP